

# 日本医史学雑誌三十七卷総目次

## 原 著

精神科看護史の諸問題……………岡田 靖雄…三二〇～三二七  
夏目漱石の胃病とその文学……………高橋 正夫…三九〇～三九三  
—修善寺の大患を中心として……………松木 明知…四七〇～四七三

「地域の医学史」研究序説……………松木 明知…四七〇～四七三  
京都における医史学研究史(Ⅰ)……………杉立 義一…四九三～五二二

因伯における牛種痘の初め……………森 納…五三三～五三九  
肥後の医学教育と村井家……………浜田 善利…五五〇～五五五  
坪井芳洲と薩摩藩……………泉 彪之助…五七〇～五七六

研究ノート  
米医D・B・シモンズ(Ⅱ) —福沢諭吉の書簡より  
みたるアメリカにおけるドクトル・シモンズ……………荒井 保男…三六五～三七〇

絵島・生島事件と御蔵島……………新藤 恵久…三九〇～三九六  
……………恒雄…四〇三～四〇六

広 場  
ベルツの明治九年の日本奥地旅行……………小関 恒雄…四〇三～四〇六

短 報  
新出の国宝仁和寺本「医心方」零葉  
—卷一九第五九葉—……………小曾戸 洋・杉立 義一…四七〇～四七六

報 告  
第三二回国際医史学会会議の印象……………古川 明…五〇〇～五〇六

## 追 悼

ヨーロッパ医史学の現況について……………石田 純郎…五三三～五三六  
本間邦則評議員の御逝去を悼む……………蒲原 宏…六五〇～六五三  
吉岡博人名譽会員の御逝去を悼む……………酒井 シヅ…六二〇～六二四

資 料  
和刻本漢籍医書総合年表—書名索引……………小曾戸 洋…四〇七～四一五  
江戸幕府の医療制度に関する史料(五)  
—文政度『官医分限』—……………香取 俊光…四七〇～四七三

池田文書の研究(五)……………池田文書研究会…四三三～四三九  
南遠地域の医の近代化の起点としての玄聖講……………舟木 茂夫…五三〇～五三六

カスパル・シャムベルゲルの「弔辭」について……………ヴォルフガング・ミヒェル…六五〇～六五三  
池田文書研究会……………池田文書研究会…六五〇～六五三

記念講演論文  
郷土・広島にみられる富士川游の世界……………江川 義雄…三〇一～三〇五  
富士川游・呉秀三両先生の問……………岡田 靖雄…一七〇～一七三

—友情と医学史研究……………長門谷洋治…三三〇～三三三  
富士川游と土肥慶蔵……………富士川英郎…四七〇～四七六

富士川游先生没後五十年に寄せて……………宗田 一…五〇〇～五〇六  
富士川游先生を偲んで……………赤松 金芳…五五〇～五五三

回 想  
富士川游先生との巡り会い……………田中 助一…六〇〇～六〇六

富士川游先生、私への教え、思い出……………三木 栄…三〇〇〇  
 富士川游先生を想う……………山形 敬一…三〇〇  
 年譜・著作目録・展示目録

富士川游博士年譜……………酒井 シヅ…三〇〇〇  
 富士川游博士主著作目録……………酒井 シヅ…三〇〇  
 富士川游博士没後五〇年記念会展示目録

……………酒井 シヅ・蔵方 宏昌…三〇〇〇

### 第92回日本医史学会総会演題目次

#### 教育講演

一隅を照す、医学の輝き……………山中 太木…三〇〇〇

#### 特別講演

中国医学における経絡経穴の変遷……………高島 文一…三〇〇〇

#### 会長講演

『医心方』の伝来から見た日本医学史の一側面

……………杉立 義一…三〇〇〇

#### 一般口演

1 『聖濟総録』口歯門における

口腔軟組織疾患の分類について……………戸出 一郎…三〇〇〇

2 『飲膳正要』に関する考察

―聚珍異饌を中心として……………加藤伊都子…三〇〇〇

3 中国医学と道教 (XI 金瓶梅から)

……………吉元 昭治…三〇〇〇

4 療術としての按腹 (腹とり) の歴史

……………中村 昭…三〇〇〇

5 一九世紀末から二〇世紀初頭の中国における

女子医学教育について……………三崎 裕子…三〇〇〇

6 伝記『青木周弼』の補訂……………田中 助一…三〇〇〇

7 『医心方』所引の『延寿赤書』について

……………坂出 祥伸…三〇〇〇

8 現存する『啓迪集』の古鈔本について

……………小曾戸 洋…三〇〇〇

9 松下見林とその師古林見宜……………岡田 安弘…三〇〇〇

10 曲直瀬道三の『薬性能毒』について

……………宗田 一…三〇〇〇

11 『本草綱目』の伝来と金陵本……………真柳 誠…三〇〇〇

12 小野蘭山・蕙畝と幕府医学館薬園……………遠藤 正治…三〇〇〇

13 吉田長淑『駒谷吉田方鑑』と

蘭館医レツケとについて……………津田 進三…三〇〇〇

14 桂川甫筑と御蔵島……………新藤 恵久…三〇〇〇

15 原沢文仲『青洲先生聞書』と

伊藤震山『春林軒隨筆』による

華岡青洲乳癌手術記録の再検討……………浦原 宏…三〇〇〇

16 『及彼』(豚解剖書)の研究について

……………末田 尚…三〇〇〇

17 藤林普山訳『解屍篇』について

―森田千庵署名(印)入り写本より

- 18 『真齋謏筆』の小児門について……………長谷川一夫…三七〇～三二九
- 19 『仁助咄』にみられる医学……………浜田 善利…三三〇～三三三
- 20 『福岡藩奥御番医龜鑑』について……………木下 勤…三三三～三三五
- 21 広瀬旭狂門人「古谷道庵」……………末中 哲夫…三五〇～三七七
- 22 『回生録』の研究(一)……………昼田源四郎、末田尚…三七七～三九九
- 23 坪井芳洲と薩摩藩……………泉 彪之助…三〇〇～三三二
- 24 米沢藩北条郷における安政二年の種痘実施……………船山 道隆…三三三～三三三
- 25 江戸時代(末期)の白内障手術症例報告  
—『白内障手術人名実験録』から—……………奥沢 康正…三三三～三三四
- 26 福山藩医学校並びに同仁病院と医人たち……………江川 義雄…三四一～三四六
- 27 島邸一小伝—悲運の精神病学者—岡田 靖雄…三六六～三六八
- 28 日本とフランスのアンブローズ・パレ……………大村 敏郎…三九〇～三九二
- 29 蘭学のルーツについて……………  
—オランダ外科医界由来の医学……………石田純郎、H・ポイケルス…三四一～三四三
- 30 シドニ・リンガーと治療学……………栗本 宗治…三四三～三四五
- 31 ヘルマン・ブショフの生涯とその業績……………W・ミヒェル…三四五～三四七
- 32 「狂気の石」について—十五～十七世紀オランダ、  
フランドル地方の絵画に基づく一考察……………酒井明夫、三田俊夫、道又利、石渡隆司…三四八～三四九
- 33 『導引口訣鈔』にみる病伝の文献解釈について……………坂本秀治、市川太郎…三五〇～三五二
- 34 『横浜軍陣病院の日記』を再読して……………中西 淳朗…三五三～三五五
- 35 明治天皇の大坂行幸で始まった洋式病院と西洋医学講義録の出版……………中室 嘉祐…三五五～三五七
- 36 明治初期の御雇外国人医学教師関係法について……………高安 伸子…三五八～三五九
- 37 岡山における明治初期の病理解剖……………中山 沃…三六〇～三六二
- 38 「京都看病學校設立趣旨」について……………渋谷敏、谷津三雄…三六二～三六四
- 39 「京都看病學校設立の演説」について……………谷津三雄、渋谷敏…三六五～三六七
- 40 陸軍看病人について……………黒澤 嘉幸…三六七～三六九
- 41 創立時の「済生学舎」の脈……………唐沢 信安…三六九～三七二
- 42 夏目漱石の胃病とその文学……………  
—修善寺の大患を中心として—……………高橋 正夫…三七二～三七三
- 43 野口英世の師、渡辺鼎の業績……………石原 理年…三七三～三七五
- 44 佐伯理一郎・再論……………長門谷洋治…三七五～三七六
- 45 草壁系諸帝の病迹……………稲垣 直…三七六～三八〇
- 46 尿蛋白定量末吉法について……………会田 恵…三八一～三八三
- 47 京都における近代麻醉科学への道程……………

48	高比重液による脊椎麻酔の先駆者朴蘭秀の生涯 .....	藤田 俊夫	二六二～二六四
49	島村鼎甫―その業績と記録― .....	松木 明知	二六五
50	眼科医 丸尾興堂の家系 .....	津下 健哉	二六六～二六八
51	日本の大気汚染の歴史 .....	奥沢康正	二六八～二六九
52	じん肺史の一断面 .....	三浦 豊彦	二六九～二七一
53	―ウイルヒョウ説を中心に― .....	梶田 昭	二七二～二七三
54	人工心肺の発達史 .....	藤倉一郎、藤倉美耶子	二七四～二七五
55	暉峻義等没後二十五年に寄せて .....	寺畑 喜朔	二七六～二七八
56	戦中戦後の医学教育史―医学専門学校― .....	酒井 シヅ	二九八～二九九
57	占領期における医薬分業論争史(第一報) ―GHQ文書による検証― .....	杉田 聡	三〇〇～三〇三
	過去四五年間の一精神病院における入院患者の 死亡率および死因について .....	小池 清廉	三〇二～三〇三